

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	15.3.7			
平成15年度	事業コード	21210	電話	042-769-8245
担当部課名	環境事業部	ごみ減量推進課		リサイクル
事務事業名	資源循環推進施設整備計画策定経費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	人と自然にやさしい地域社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第2節	リサイクル型社会の構築	14年度
施策名	第1施策	リサイクルシステムの構築とごみの減量化・資源化	

2 実施根拠及び関連法令等

循環型社会形成推進基本法 容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（容器包装リサイクル法）

3 事務の区分

自治事務	4 経費の区分 その他の経費	5 事務事業の分類 市単独事業	6 受益者負担 なし
------	-------------------	--------------------	---------------

7 事業概要

(1) 事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2) 対象(誰、何)
循環型社会形成推進基本法により、廃棄物処理の原則が発生抑制 再使用 再生利用 熱回収 適正処分とされ、さらに容器包装リサイクル法により、ペットボトルやその他プラスチック製容器包装などの容器包装廃棄物の収集・選別・圧縮・梱包・保管が市町村の責務とされている。相模原市として必要な施設規模等を検討する。	ペットボトル、その他プラスチック製容器包装、その他紙製容器包装
	対象数 3品目検討
(3) 平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
<ul style="list-style-type: none"> 資源循環推進施設として必要な施設内容の検討（廃棄物再生利用機能・啓発機能等） 容器包装廃棄物の処理量推計と施設規模の検討 施設の配置計画案の検討 南清掃工場建替事業の延期、市の財政事情、一般ごみ有料化の検討を考慮した整備時期・整備手法の検討 	
(4) 個別計画の概要	概要
計画名 相模原市新一般廃棄物処理基本計画	基本理念 ともにつくる資源循環型都市 さがみはら 基本方針 ごみの発生・排出を抑制する社会システムへの転換 環境負荷の低減を目指した適正処理の推進
計画年次 14年度～22年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

	指標名	指標式	指標設定の意図	15,16年度は目標値 指標の推移(年度)				
成果指標				12	13	14	15	16
活動指標	計画策定達成率	計画完了件数÷目標計画数*100	予定どおり事務作業が進んでいるかを検証する。			100		

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度 決算	平成13年度 決算	平成14年度 決算	平成15年度 予算	平成16年度 予算(見込み)
事業費	決算(予算)額			3,648		
	人員・時間数			0.3人		
	人件費			2,517		
	その他経費					
	合計	0	0	6,165	0	0
特定財源						
対象数						
対象の単位あたり経費	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	計画検討が目的であるため、その成果は後年度事業実施されるまで評価できない。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 市の財政事情等により、整備時期等の具体的な内容について策定できないが、循環型社会の推進のため、必要な事業であるため、早期実現を目指す。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	計画の具体化により、大幅なごみの減量化・資源化が期待できる。
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 他市の計画策定経費に比べ低額な経費となっている。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	ごみの資源化施策の計画であるため、市民全体が対象となり、不公平にはならない。新たな分別回収及び施設整備費について多額な経費がかかるため、受益者負担については将来的に検討を要する。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明: 本事業については、計画のみで一旦終了し、15年度以降は具体的な整備方式を検討していくことになる。	手段	事業完了
		削減額	千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
		県内では、本市の実施予定が最も遅くなっており、早急な対応が望まれる。計画策定費に関しては、各市により、検討内容・方法が違い一概に比較はできない。しかし、印刷経費を省き、デジタル媒体で作成するなど、事業費としては大幅な経費節減を図っている。参考 千葉県T町廃棄物循環型社会基盤施設整備事業計画委託(5,985千円)神奈川県F市リサイクルプラザ整備事業計画委託(5,565千円)
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	現在の財政状況では、平成18年度以前の市による施設整備は難しいとされたため、当初想定していた計画内容(平成15年度の基本設計を目標)は修正し、様々な実施方策についての検討も加え、具体的な実施方法等は改めて平成15年度以降に検討することとした。(15年度検討結果=ペットボトル及びその他プラスチック製容器包装については、施設整備を含めた事業委託方式により、その他紙製容器包装については、資源の日回収の古紙類と合わせて実施する方向とする。)
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input checked="" type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--